

## トップメッセージ



経営管理委員会会長  
小野寺 敬 作



代表理事理事長  
菅 原 和 則

みなさまには、平素より私ども岩手県信用農業協同組合連合会（愛称「JA岩手県信連」）をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

当会の業務運営方針や令和元年度の業績および業務内容をご紹介するため、ディスクロージャー誌「JA岩手県信連の現況」を作成いたしました。ぜひご高覧いただき、当会に対するご理解を深めていただければ幸いです。

当会は昭和23年の創立以来、農業専門金融機関ならびに地域金融機関として、岩手県農業の維持・発展および地域のみなさまに食の安全と安心をお届けすることを金融面からサポートするとともに、地域のみなさまの生活向上に資するべく幅広い金融サービスの提供に努めてまいりました。

さて、令和元年度の国内経済は、設備投資等の伸びを主因に前半は堅調に推移したものの、夏場以降は台風災害や米中貿易摩擦の影響および10月の消費税増税の影響により成長率がマイナス圏に沈みました。年が明けた第4四半期以降は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により記録的な落ち込みとなりました。

農業を取り巻く情勢においても、日米貿易協定が発効され、日本農業はかつてない自由化時代に入りました。消費税増税や新型コロナウイルスの影響と相まって、特に牛肉や乳製品、花卉の需要や価格低迷の長期化が懸念され、金融支援等の対応を継続していく必要があります。

こうした情勢下、当会は第18次経営3か年計画の初年度として、JAバンク岩手の持続可能な経営基盤の確立・強化に向けて、貸出等による地域貢献の強化や、店舗・ATM再編、営農経済事業の成長・効率化等にかかるJAの取り組みを支援いたしました。

今後とも、「農家組合員の所得増大と農業生産の拡大」、「地域の活性化」、「協同（結びつき）の更なる強化」と「持続可能なJA基盤の確立・強化」に向けて、JAグループの一員として取り組んでまいりますので、なお一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年7月

経営管理委員会会長 小野寺 敬 作  
代表理事理事長 菅 原 和 則